

## インドにおける現地情報

2024年 1月18日  
インドのアイジェイシー：土肥克彦

### 【インド株を通してインド経済の状況を知る】

2024年となり、新NISAがスタートしました。最近のインド経済の好調さを聞きつけ、私にもインド株について聞いてくる人もいます。ただし、私はインド株に特に知見があるわけではありません。

そこで、この機会にインド株を通してインド経済の状況を見てみることにします。

インド株の2023年のパフォーマンスを見てみると、2022年末のSENSEX指数（ボンベイ証券取引所に上場する主要企業で構成されるインドの代表的な株価指数）は60,840で、2023年末には72,240なので19%の上昇で、これはアメリカの収容株価指数であるS&P500指数が24%、日経平均が28%上昇したことを考えても、特に大きな上昇ではありませんでした。

ただしこの10年でみると、アメリカS&Pが2.6倍、日経平均は2.2倍の伸びに対して、インドSENSEX指数は3.5倍の上昇となっています。

そして、今後のインド経済についても明るい見通しを持つ人は多いようです。米金融大手ゴールドマン・サックスも昨年11月、インド株の投資判断を「マーケットウエート（資産配分比率を通常の基準レベル程度すること）」から「オーバーウエート（資産配分比率を基準よりも高くすること）」に引き上げています。その理由としてゴールドマンは、力強い経済成長の見通しやインド国内投資信託への堅調な資金流入、中国からサプライチェーンが移行する可能性を挙げています。

また、この株高を受け、インド国立証券取引所NSEは香港証券取引所を抜いて、世界で7番目の規模の取引所となったことが、国際取引所連合のデータから明らかになりました。

ちなみに、日本における過去1年間の新興国株式投信の純流入額ランキングを見てみると、上位10本のうち8本がインド株型（残り2本は複数の新興国株式型）で占められています。

国際通貨基金IMFが2023年10月10日に発表した世界経済見通しによると、インドの実質GDP成長率は2022年の+7.2%に続き、2023年は+6.3%、2024年も+6.3%と高水準が見込まれています（World Economic Outlook of October 2023）。

インド株が好調な背景には、堅調な企業業績があります。米ブルームバーグによれば、

SENSEX指数の予想ベースの1株当たり利益（EPS）の伸び率（前年比）は、2023年+21%、2024年+17%、NIFTY中型株指数（インド証券取引所（ナショナル）に上場する企業のうち、中程度の大きさの企業で構成された株価指数）については2023年+25%、2024年+24%と、高い利益成長が見込まれています。

また、インドの消費者物価上昇率がピークアウトし、物価目標レンジに収まっていることで、インド準備銀行による利上げが終了したとの見方が広がったことも、株式市場への安心感につながっているとみられます。

インドは生産年齢人口（15歳以上65歳未満）が増え続ける人口ボーナス期が2019年に始まったばかりで、2050年頃まで続く見込みです。

2022年におけるインドのGDPは世界5位ですが、IMFは2027年にはドイツや日本を抜き、米国と中国に次ぐ「GDPで世界3位」に浮上すると予想しています。

さらに、現在、中国やロシアへの投資が回避される状況において、インドがその代替先としての存在感を高めています。米アップル社は、インドへの大規模投資を表明し、関連する部品メーカーもインドへと進出しています。すでにインドでiPhoneの生産を始めており、中国からインドへの生産移管が進んでいます。他にも、米電気自動車（EV）大手テスラもインドへの投資を検討しています。

さらに、昨年12月に行われたインドの州議会選挙でモディ首相率いるインド人民党（BJP）が圧勝し、人口の多い北部と中部の重要3州で過半数の議席を獲得しました。今年の総選挙においてモディ氏が勝利を収めることにより、政府は現在の市場寄りの政策を維持すると見られていることも、株価を押し上げる要因となっています。モディ政権は国内製造業の振興やインフラ整備の推進、積極的な規制緩和や優遇策による海外からの投資や外資企業の誘致に注力しています。

また、インドは今後成長が見込まれるアフリカのケニアなどアフリカ諸国に対し、自動車などの輸出を計画しているなど、インフラが整い、製造業を振興するメイク・イン・インドが進めば、インドは中国や東南アジアに匹敵する工業大国となる可能性があります。

ただ、インド株で注意しておきたいのは、インドの高成長予想はすでに株価に織り込み済みであることです。インド株がさらに上がるためには、実際の成長が多くの人の予想を上回ることが必要です。したがって、人気だからとむやみに乗っかるのは危険です。

日本からインド株に投資するには、インド株を組み入れた投資信託を購入するのが一般的です。間接的なインドへの投資として、インドで売り上げの大きな日本企業へ投資する方法もあります。インドが好材料視されている日本企業としては、スズキ、黒崎播磨や、関西ペイントなどがあります（推奨ではありません）。

インドはこれからも成長を続けると思いますが、経済の成長と株式投資のリターンは必ずしも一致しないことにも注意しておく必要があります。投資はあくまでも自己責任でお願いします。